

「磁気テープによるデジタル情報の長期保存方法」 新しい JIS 規格が制定されました

公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会(JIIMA)

JIIMA; 公益社団法人日本文書情報マネジメント協会(理事長 高橋通彦) が日本規格協会と共同で開発した、JIS Z6019「磁気テープによるデジタル情報の長期保存方法」が1月22日に制定されました。

ビッグデータ、IoT、や AI という言葉で代表される高度情報化社会を迎え、膨大なデジタル情報を長期保存するシステムとして、省エネ、低コスト、かつ可搬媒体として遠隔地保管も容易な大容量磁気テープシステムが注目されています。

一般的に適切な環境下で保管された磁気テープは30年以上の寿命があると言われています。しかし、磁気テープからデジタル情報を読み出すためのドライブやソフトウェアの寿命(保守期間)の方が、磁気テープの寿命よりも短いことが多く、これらを含めて総合的にデジタル情報を管理しないと、将来デジタル情報を読み取れなくなる危険性があります。

JIS Z6019「磁気テープによるデジタル情報の長期保存方法」では、実際の使用例の調査等を踏まえて審議し、デジタル情報を冗長化して保存し、かつ記録媒体、データを読み出すドライブ等の機器および管理台帳や OS 等のソフトウェアの移行を繰り返すことで、デジタル情報を半永久的に長期保存するためのガイドを提供します。

この規格は大規模な磁気テープシステムを稼働している大規模な事業所から、小規模な事業所まで幅広い層で活用出来ます。JIS Z6019 は日本規格協会ホームページから購入できます。

<https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0070/index>

本件のお問い合わせは、下記にお願い致します。

JIIMA 専務理事 長濱

E-mail nagahama@jiima.or.jp TEL. 03-5821-7351